

平成25年6月19日(水)
保健衛生学科看護学専攻2年
病態学

内分泌・代謝 代謝疾患

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 分子内分泌代謝学分野
東京医科歯科大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・代謝内科

三原 正朋

代謝疾患

- ・糖代謝 糖尿病、低血糖症
- ・脂質代謝異常 脂質異常症・高脂血症
- ・骨代謝異常 骨粗鬆症、骨軟化症・くる病
- ・尿酸代謝異常 痛風、高尿酸血症
- ・肥満、メタボリックシンドローム

糖尿病における検査の意義

1. 病態の診断に必要な検査(初診時など)
 - A) 糖尿病の診断・分類
 - B) 合併症の診断
 - ・急性合併症の診断
 - ・慢性合併症の診断
 - C) 併発する疾患の診断
悪性疾患、感染症など
2. 病状把握のため必要な検査(日常診療時)
 - A) 血糖コントロールの評価
 - B) 合併症コントロール(臨床病期)の評価
 - ・細小血管障害
 - ・大血管障害
 - C) 併発症の評価
高血圧、脂質異常症、感染症など

血糖(BG: blood glucose)

★血糖値とは: **血中のブドウ糖の濃度**

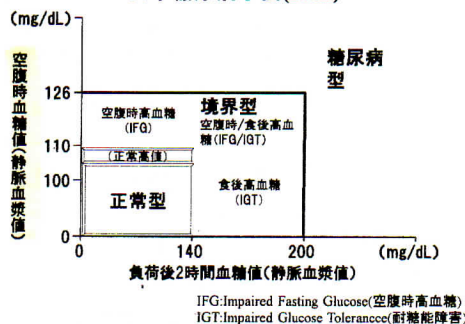
★血糖値の種類

血糖値の種類	特徴
空腹時血糖値	・食事から10時間以上あけて測定 ・一般的には前日21時以降絶食とし、翌朝食事前に採血
随時血糖値	・食事とは無関係に測定した血糖値
75gOGTT 2時間値	・10時間以上絶食のあと、75gのブドウ糖を経口負荷し、2時間後採血

★静脈血、毛細管血、動脈血の血糖値の差異

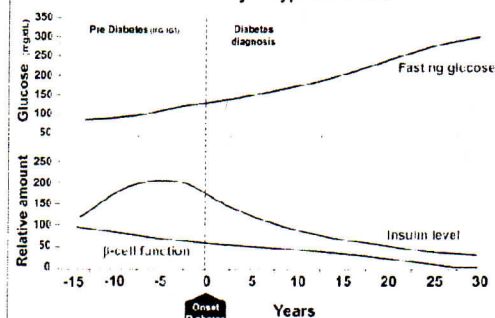
糖代謝異常の判定区分

日本糖尿病学会(2012)



2型糖尿病の自然歴

Natural History of Type 2 Diabetes



(Kendall DM, et al. The American Journal of Medicine. 122: S37-S50, 2009)